

2. 快適でやすらぎのあるまちづくり

河川・
排水路

Rivers and drainage canals

■現況及び課題

本市の河川は、そのほとんどが延長3km未満の小河川で、雨水は短時間で海まで流出します。

市内には42河川があり、総延長は58km余で、市管理河川では約93%が改修されています。しかし、さらに安全度を高めることを必要とする河川は数多くあり、特に、市街地における鉄道交差部（西田川、落合川、尺地川）等が未整備となっています。

低地部の排水対策として、下水道事業認可区域は下水道事業（雨水）で管路を整備し、区域外は排水計画に基づき逐次整備を進めています。しかし、都市化の進展や農地の利用転換に伴って、豪雨時は短時間に出水し、市街地の低地部で浸水するところが現れています。

計画的な排水路整備、河川改修計画の見直し等、防災対策にも配慮した河口部等の未改修区間の早急な整備が望まれている。

ます。このため、準用河川や普通河川改修事業の推進と併せ、二級河川管理者の県に対し、未改修区間の整備促進を積極的に要望していく必要があります。

近年、河川を取り巻く状況は大きく変わり、単に治水・利水の役割だけでなく住民利用を重視した公園機能を有する河川として、潤いのある水辺空間や親水性の向上を図ることが重要です。また、住民の憩いとやすらぎの場を提供して、地元で密着しながら市民の連帯・強調を図るほか、自然環境の保全にも努め、河川水質の浄化にも考慮した整備を推進する必要があります。

下水道事業認可区域外では、既存排水施設の老朽化や流出水量等の変化による流下能力の低下への対応と地域開発に見合った排水網の整備が課題となっており、計画的な排水対策に取り組む必要があります。

河川・排水路

[施策の体系]

1. 準用河川・普通河川の改修の推進
2. 鉄道交差部の改修
3. 二級河川の改修
4. 親水性・自然環境に配慮した河川の整備
5. 排水施設の整備・拡充

基本方針

潤いと親水性、自然環境に配慮した河川整備を目指し、周辺環境と調和のとれた改修を進めるとともに、下流からの河川整備による洪水の防止及び低地部の浸水排除対策に努めます。

施策

1 準用河川・普通河川の改修の推進

未改修区間や既設河川断面の不足箇所の整備を計画的・効率的に実施します。

2 鉄道交差部の改修

西田川・落合川・尺地川が鉄道と交差する部分については、連続立体交差事業との調整を図りながら改修を進めます。

3 二級河川の改修

河川管理者に対し、事業促進を強く要望するとともに、用地取得や物件補償等の問題解決に協力し、河川改修の促進を図ります。

4 親水性・自然環境に配慮した河川の整備

快適で良好な水辺空間を創造するため、河川のもつ自然浄化能力の回復に努め、地

元住民との連携を図りながら、親水性及び自然環境の保全を重視した川づくりに努めます。

5 排水施設の整備・拡充

地域の開発等に適合した排水路の整備・拡充を進めるとともに、下水道事業認可区域外の地域について、低地部の浸水排除の対策に努めます。



西田川(親水性護岸)

主な事業・計画

事業名		概要	計画期間		事業主体
排水路整備事業	河川・排水路整備事業	河川整備 L = 1,500m、河川浚渫 V = 16,000m ³ 、排水路整備 L = 7,500m	前期	後期	愛知県・蒲都市